

第 13 回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 23 年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成 23 年 4 月 1 日施行の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
<p style="text-align: center;">北海道</p> <p>(日赤北海道支部)</p> <p>(道内市町村)</p> <p style="text-align: center;">青森県</p>	<p>年齢見直しに係る広報につきましては、報道各メディア(映画 CM・街頭ビジョン)、ラジオ・テレビを活用し広く道民へ周知。学校へのポスター掲示と教員への説明を実施。</p> <p>赤十字イベント会場等で啓蒙活動。</p> <p>・北海道赤十字血液センターで作成した広報資材ポスター等により PR</p> <p>・ホームページを活用して住民へ PR</p> <p>学校や事業所等への訪問、マスメディア(ラジオ広報)の活用や新聞の折り込みチラシを実施予定。また、フリーペーパーへの広告の掲載を実施中。</p>	<p>本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p> <p>・北海道、各献血推進協議会、報道機関、教育委員会、日赤</p> <p>・イベント会場スタッフ、ボランティア団体等への参加協力</p> <p>・市町村、日赤</p> <p>・日赤</p> <p>・県、市町村、学校長、報道機関</p>

岩手県	報道各メディアを活用し、周知する予定。県血液センターのホームページでの掲載、学校献血等の会場で周知する予定。	・各報道機関（県献血推進協議会委員委嘱）
山形県	高等学校へ献血を依頼する際、周知。担当者会議を開催し、市町村担当者に制度を通知し、住民への周知を依頼予定。	
宮城県	大型街頭ビジョンによるCM放送本来4月実施する予定であったが、震災の関係で延期中。広報誌等へ採血基準の改定について掲載。55歳以上の成分献血対象者の男性へは、誕生月に葉書で血小板献血が69歳まで可能になったことを通知。	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県赤十字血液センター（ビジョン、広報誌） ・県、宮城県赤十字血液センター（ホームページ） ・各献血団体，宮城県赤十字血液センター（ポスター広報）
福島県	薬務課ホームページへの掲載、血液センター、各報道機関（テレビ等）、新聞を活用し周知。	

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	<p style="text-align: center;">予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
北海道	<p>キッズコーナーを約6年前から設置、今後、新設時子育て中の親子が安心して過ごせるスペース(保育士の育成、幼児と小児双方が過ごせるスペース)の提供を検討中であり、各ルームに保育士の配置を検討。 小学校の見学を多く取り入れ、PTAと連携による親を対象に献血の重要性を啓発。</p>	<p>・「キッズスペース」にて対応をするお子様については、顧客(献血者)となることから、届け出対象外の施設となる。 (但し、事故や苦情等があった場合は、指導対象となる施設)</p>
青森県	<p>小学校や中学校に献血バスを配車致して、保護者が献血している姿を実際に子供に見ていただく「PTA献血」を検討中。</p>	<p>・青森市PTA連合会</p>
岩手県	<p>4月に移転・新装オープンした際に、キッズスペースを設置。</p>	
山形県	<p>血液センターでは、子供連れの献血者の方には、一緒に採血車に同乗し、「献血状況」の体験を積極的に実施中。</p>	
宮城県	<p>キッズルームの中からガラス越しに献血室を間近に見ることができる構造変更。</p>	<p>・宮城県赤十字血液センター</p>

福島県	夏休み中に親子で血液センターの見学会を実施。献血の理解を深める講話を実施。献血フェスティバル、毎年血液センターで2月に開催する献血祭りで、キッズ模擬献血コーナーを設け、疑似体験の実施。	
-----	--	--

③「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
北海道 <small>(日赤北海道支部)</small> <small>(道内市町村)</small>	<p>看護学校・高等学校に対しては、献血セミナーを実施中。また、小学生生徒に対しては、参観日等に合わせた啓蒙活動を実施。</p> <p>赤十字活動について講演等の実施。 (例→東日本大震災の活動報告など)</p> <p>健康まつりの際に、献血に関するパネルクイズを実施し、献血に対する理解を市民に深めてもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日赤、教育委員会、札幌市立小学校 ・血液センター職員、北海道支部職員等。 ・市町村、日赤
青森県	<p>小さな子どもに対しては、教材にスライドを使用した「献血親子セミナー」を開催。中・高校生に対しては、授業の一環としての献血講座を開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青森市教育委員会（献血親子セミナー） ・県、市町村・学校長（献血講座）
岩手県	<p>高校生献血セミナー（出前講座）の開催は、県高等学校長協会の会の中で依頼をしており、積極的に開催する予定。親と子の血液センター見学会の開催を夏休みの時期に開催する予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県高等学校長協会への依頼（高校生セミナー） ・血液センター近隣の市町村教育委員会（センター見学会）

山形県	次世代献血者を育成するため、中学生を対象として出前講座を実施中。	・県及び血液センターが協力し、学校側との日程調整を行う。
宮城県	今年度は震災の影響があるため、保護者と小学生の4年生以上を対象としたキッズスクールの規模を縮小して開催する予定。中学生を対象とした職場体験学習を開催。高校生以上を対象とした献血セミナーを開催。	・各教育委員会、各学校、宮城県赤十字血液センター
福島県	献血出前講座の実施について、あらためて教育委員会へ周知。夏休み中の血液センター見学会、2月の献血フェスティバルの際のキッズ模擬献血コーナーを実施予定。	・県教育委員会及び血液センターとの連携

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
<p>北海道</p> <p>(日赤北海道支部) (道内市町村)</p>	<p>各大学、専門学校、サークル、学生寮に献血に対する勉強会を実施。また、医療従事者に対する普及啓発につきましては、医薬情報の方で医大生、検査技師、リハビリ技師に対して施設見学を含めた勉強会を実施。なお、現在大学への移動採血車の運行の際にはグループ献血を行っておりますが、新規献血者の増、複数回献血の推進のため、固定施設、各ルームでも検討し、実施する予定。学生ボランティアで組織する北海道学生献血推進協議会の規模を拡大する予定。広報資料「献血推進用DVD」の上映会を推進すると共に、学生に喜んで貰える「学校献血処遇品」を再検討。</p> <p>赤十字のしくみと活動について普及啓発。</p> <p>北海道薬科大学及び小樽商科大学に対する献血の協力依頼。(各年2回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日赤 ・血液センター職員、北海道支部職員等。 ・各大学
<p>青森県</p>	<p>県内の複数の大学生で組織する大学青森県学生献血推進連絡会の協力により、年間6回の献血を協力依頼。また、当連絡会の更なる活性化により、各種献血イベント(サマー・クリスマスキャンペーン)の実施。医療従事者を目指す学生への献血啓蒙活動の実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県、大学長(学生献血推進連絡協議会) ・市町村、大学長等(献血バスの配車依頼等) ・弘前大学長(医療系学生)

岩手県	<p>大学・専門学校への定期的な献血バスによる献血の継続実施と学生献血ボランティアに対する連携強化の取り組みを実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学、専門学校 ・学生ボランティア団体
山形県	<p>大学や各種看護専門学校の学生に対し、「献血推進DVD」の視聴を推進。学生献血ボランティアによる学校祭で献血推進活動を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生献血ボランティアへ献血の情報を提供し、協力をお願いする。
宮城県	<p>大学の校内献血におけるグループ献血を推進するほか、看護学校等に対する献血バスを配車。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県赤十字血液センター
福島県	<p>大学生等のボランティアが行う献血イベント（サマー・クリスマスキャンペーン）の支援。各大学・専門学校での献血を強化するため、献血バスを定期的に配車。</p>	

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
北海道 (道内市町村)	<p>当年代に人気のあるスポーツ（パークゴルフ等）の各種大会における広報活動を検討。新たなイベントの定着に向け、「還暦献血」を検討。また、69歳までの献血について、啓発方法等（チラシ、ポスター）の検討。その他、健康についてのキャンペーンの実施を検討し、糖尿病の検査についても引き続きアピールの強化を実施やシニア向けの雑誌への啓発記事の掲載について検討。</p> <p>市内のショッピングセンター前で、50～60歳代の方を中心に街頭献血</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日赤、北海道 ・血液センター
青森県	<p>シニア献血対象者（50～60歳代）への採血基準改正のお知らせ並びに献血記念品の引換券を発送。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市町村
岩手県	<p>採血基準の改正に伴い、新たに血小板献血等が可能になった対象者へダイレクトメールを発送。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・採血基準の改正に伴い、新たにPC採血可能になった方への依頼ハガキの送付。
山形県	<p>県内のライオンズクラブ会長を招集し血液センターと共催により、献血推進研究会というのを開催しているため、会員への周知を依頼。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンズクラブと血液センターの共催で、献血推進研究会を開催する。

宮城県	ダイレクトメールを活用し、対象者へ郵送。リピーターの確保のため、55歳以上の男性に対して採血基準の改訂に伴い血小板ができるようになったことを知らせる通知の発送を55歳の誕生日を迎える月に発送。	・宮城県赤十字血液センター
福島県	基準改正のポスター掲示、チラシ配布、ホームページへの掲載し周知を実施。	

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道 (日赤北海道支部) (道内市町村)	施設の建て替えもしくは移転においては「統一性」、「独自性」を融合した北海道エリアを包括するイメージとして「自然のやすらぎ」をベースコンセプトとして取り進める予定。また、郊外の献血ルームや地方の献血センターについても、木目調の内装や地域の代表的な風景等を表現する内装。街中のルームについては、癒しの演出として、ゆったりした感覚をもてるような演出や家族的雰囲気にする予定。 啓蒙活動。 新型移動献血車の運行開始から1週間(6月13日～17日)、献血者には「移動採血車」のミニカー(トミカ製)をプレゼント(新型移動採血車運行キャンペーンの実施)。	・日赤 ・血液センター職員、支部職員、ボランティア等。 ・マスコミ(北海道新聞社、函館新聞社)

青森県	「施設のあり方検討会」を設置し、センター・ルームのあり方を現在検討中。	
岩手県	本年4月に献血ルーム新装オープンでは、フロアの拡張、採血ベットの増設、動線の適正化とキッズスペースの設置を充実。その他、新しいロゴマークを作りイメージアップを行う予定。	
山形県	手狭になった献血ルームを新しく移転する際に検討する予定。	
宮城県	一昨年の12月に開設した献血ルームは、パンを提供し、サービスの充実に努める。また、移動採血バスにおいても、軽食（ドーナツ等）やサーバータイプの飲料（コーヒー・紅茶）にする予定。	・宮城県赤十字血液センター
福島県	地域の特性に合わせたイメージアップに関する取り組みなど、好評を得ていることから、非常に寒い季節における待ち時間の防寒対策などを検討し、気持ち良く献血を行っていただけるよう検討する予定。	

第13回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 23年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、血液センターホームページへ掲載 ・ 高校生献血キャンペーン等での広報（チラシ等での周知） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、教育委員会、地元新聞社
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の高校2年生以上、大学生及び専門学校生へ啓発リーフレットの配布を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会（県立校）、県文書学事課（私学）
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県および血液センターHP上での広報 ・ 広報用ポスターの掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター

<p>埼玉県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ埼玉にて 15 秒 CM を 45 本放送。 ・ 県内コミュニティFM3 社で 20 秒 CM を放送。 ・ 周知用ポスターを市町村、保健所、事業所、医療機関に配付。 ・ 医療機関の声を入れた 400mL 献血推進用ポスター作成。（17 歳男性の 400mL 献血可能を記載） ・ 血液センターと県のホームページに掲載（継続） ・ 「高校入学おめでとうキャンペーン」として新高校 1 年生の献血ルーム見学会を実施。また、キャンペーンポスターに基準改正に関する広報を掲載し、県内各高校に配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター
<p>千葉県</p>	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種献血キャンペーンを実施するとともに、各種広報媒体に献血関連情報を提供する。 <p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本赤十字社作成の新採血基準ポスターの掲出 ・ 献血ルーム・移動採血車の献血受付場所での新基準掲示 ・ 献血実施高校への周知 	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民だより、市町村広報誌、県内報道機関、地域広報誌、JR 及び私鉄各社等 <p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県赤十字血液センター
<p>東京都</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙に掲載 ・ ホームページに掲載 ・ 東京都提供ラジオ番組で放送 ・ 高校で、普及啓発の講演会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都・血液センター・区市町村、高校の連携・協力を図る。
<p>神奈川県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採血基準の改正については、県のホームページへの掲載、県・市町村広報紙等の活用、各キャンペーンでの広報等により、住民に対して十分な理解と協力を呼びかける。 	

新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校、中等教育学校及び市町村、保健所への周知依頼及び啓発用ポスターの配布 ・ アルビレックス新潟のホームゲームでの PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校、中等教育学校、市町村、保健所
山梨県	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーフレット等による周知 ・ 市町村担当者への周知、広報依頼 ・ 各地区（保健所）毎の献血推進協議会での委員への周知 【血液センター】 ・ 献血協力団体への説明、協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 学校 ・ 市町村 ・ 献血協力団体
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年度の取組みを引き続き行う。特に血小板成分採血基準の見直しによる、男性の 69 歳までの引き上げを大きく PR して行きたい。 ・ ラジオスポット放送 (AM、FM) での広報を実施する。 ・ 市および県医師会の協力を得て、テレビ放送の中で広報を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血協力団体。 <p>日本コミュニティ放送協会・テレビ・ラジオ各放送局等への依頼。</p>

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ルームに幼児向けの絵本、塗り絵を備える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター

栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭献血実にはキッズスペースを設置。学生ボランティアが、献血中の保護者に替わり幼児を預かる(ぬりえや折り紙を使う)。 ・親子AED講習と施設見学会の実施(小学校夏休み期間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティア等 ・地域の小学校等
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血ルームの移転新規開設に伴い、献血に協力する意志のある乳幼児の保護者等が、安心して献血に協力できるよう乳幼児を一時的に預かる施設(キッズスペース)を採血所内に設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあい献血キャンペーンの実施(継続) ・キッズスペースについては、本年度改修予定の川越献血ルームに設置予定。(新規) 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
千葉県	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県赤十字血液センター主催、キッズ献血探検隊の実施 ・県教委の協力により血液センターの職場体験を実施 ・献血ルームの移転・改装時にキッズスペースの確保を行う ・千葉県赤十字血液センターの広報誌及びHPでの周知 	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県赤十字血液センター
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに準拠し、当該スペースを確保する検討を行う。今年度は池袋地区の2献血ルームを改装予定としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都・血液センター・区市町村の連携・協力により、取り組むこととする。
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・今後移転する献血ルームにキッズスペースを設置する。 	
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血ルーム千秋(H22.12オープン)にキッズスペースを設置 ・献血ルームに幼児・子供向け絵本の配置 	

山梨県	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園PTA主催のお祭りへ献血事業で参加。当日は、親子と一緒に献血を見学する。 ・県民の日(イベント)への献血事業での参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園 ・イベント実行委員会 ・ライオンズクラブ
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・松本伊勢町献血ルーム(松本市)を移転することにより、多目的スペースを設け、子育て中の方も献血しやすい環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DMやメール等で依頼する。

③「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、企業(事業所等)を対象とした献血出前講座及び施設見学会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、高等学校、企業
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・とちぎ県政出前講座において、「血液のはなし」と題し、血液の働きと、献血から作られる血液製剤の使い方などについての説明 ・小学校3、4年生の校外学習の一環として、近隣企業訪問を実施しており、血液センターも対象企業として参加。4～5人のグループが来所し、保護者と一緒に血液事業の説明を受ける。(血液センター) ・親子AED講習と施設見学会の実施(小学校夏休み期間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼内容等により、血液センターと連携 ・教育委員会・地域の小学校等

群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、血液供給の担い手となる子ども達(小学校5・6年生)に学童期から積極的に献血に親しんでもらうことを目的として、献血や奉仕事業に関して夏休み親子献血教室を開催した。教室では血液や献血の学習の他、児童の献血疑似体験を通じて献血の貴重性や重要性を説明した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター顧問を講師とした血液に関する出前講座の実施(継続) ・新高校1年生を対象とした献血ルーム見学会の実施(継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
千葉県	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県赤十字血液センター主催の「献血出張出前講座」の実施(高校生・専門学校生等対象) ・小学校・中学校の献血学習会の実施 	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県教育長 ・小・中・高等学校 ・日本赤十字社千葉県支部 ・千葉県赤十字血液センター
東京都	<p>献血ゼミナールを江東区内の小中学校校長会にて紹介、ホームページ等にて広く参加募集を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都・血液センター・区市町村の担当者及び各種学校との連携を図る。
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生の親子を対象として実施している「夏休み小中学生親子献血教室」を拡充し、血液の大切さや助け合いの心について、さらなる啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市町村、各市町村教育委員会、各教育事務所、各小中学校等の連携を必要とし、文書で協力依頼をしている。
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血普及講演会、献血ルーム見学会の実施(小学生～大学生対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会
山梨県	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献血ルームの見学会 ・高校生の職場体験 ・献血出前講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、PTA

長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・県では「長野県政出前講座」のテーマの一つとして「身近に感じる献血」を設定している。県民から依頼があれば、県職員が説明に出向き、意見交換を行う。センターでは、高校・大学・専門学校等で出張講座を行い、若年層献血者へ献血の重要性を呼びかける。ライオンズクラブ等への献血に関する研修会を行い献血思想の普及を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、献血協力団体、学校、ライオンズクラブ等。
-----	---	---

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・学内献血におけるミニキャンペーンの実施及び学園祭でのパネル展示やクイズ等の実施の他、学生を対象とした献血セミナーを開催し、献血の普及啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、ライオンズクラブ
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の大学・短大・専門学校での献血実施及び実施時に若年層向けチラシ・パンフレットの配布 ・学生献血推進連盟「かけはし」の活動支援 ・看護学校の学生等の血液センター施設見学の受入 ・看護学校の学生等あてにハガキ等による献血依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血実施大学・学生献血推進連盟「かけはし」等
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・県で実施しているインターンシップにおいて、医薬品である血液製剤の供給体制について説明することにより、将来学生達が薬剤師になった際、自らも現場で取り扱うこととなる血液製剤の貴重性について知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内医療系大学

埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・看護専門学校等の血液センター見学（センター所長、課長等による研修会も併せて実施する）（継続） ・大学における献血実施の際、学生献血推進連盟の学生又は学生ボランティアサークルに広報活動の援助を受ける。（継続） 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・学生献血推進連盟
千葉県	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献血者安定確保対策事業として、献血推進員（4名）を雇用し、大学等への献血協力要請・献血広報等を行う。 <p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県学生献血推進協議会の会員増加を図る。 ・大学内献血の推進 	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県赤十字血液センター
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等については若年層への働きかけ強化のため、実施回数を検討する ・医療従事者への普及啓発は体験学習の受入、献血ルーム研修、見学の受入を行う（例：東大・慶応・慈恵医大） ・献血広報活動を行う学生ボランティア等のサークルによる血液センター施設見学を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学、申し込み施設との連携
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学生を対象としたイベント（ボラフェスタ in KANAGAWA）の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜ベイスターズ、横浜F・マリノス、川崎フロンターレ、湘南ベルマーレ、FMヨコハマほか地元企業・団体等
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、専門学校等への献血バスの配車（栄養士が同行し、栄養指導を行う。） ・献血普及講演会、献血ルーム見学会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、専門学校等

山梨県	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式において啓発資材配布 【血液センター】 ・大学献血推進連絡協議会 ・看護・医学部を含む7大学での献血の実施 ・大学医学部付附属病院の公開講義、 ・各大学の学園祭への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・血液センター ・大学
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代への啓発事業として、保健所担当者が高校、短大、大学、専門学校等に、献血への理解と協力を働き掛ける。 ・大学からの要望により、一部の大学で採血不適合とされた学生に対して保健所の栄養士、保健師により栄養相談、健康相談を実施している。 ・センターでは、特に若年層へのアピールに重点をおき、医療系の大学に対して体験学習等の定期的実施を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学担当部門

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にDMを活用し、献血への協力依頼と情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター

栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血推進キャンペーン等における普及啓発の実施 ・ 対象年齢層あてにハガキ等による献血依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県が実施する「出前なんでも講座」において薬務行政に関する講座の中で、血液事業に関する講義を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村等のコミュニティセンター
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既献血者で 60 歳から 64 歳までの間に献血歴の無い方に献血の依頼を行い、且つ 69 歳まで献血を継続いただけることを葉書（年賀状、暑中見舞）にて周知を図る。（継続） ・ くじ付きはがきを活用し、目を引くよう工夫するとともに、はがき持参のうえ献血に協力した方には、記念品を進呈する他、その場でくじを使用したW抽選によりさらに記念品を贈呈するなどのイベントを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター
千葉県	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種媒体を用いて 50 代、60 代に対して情報提供を行う。媒体としては、県民だより、市町村広報誌、地域広報誌、県内 JR の電光掲示板、中吊り広告などを予定。 <p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会等に回覧用チラシで地域住民献血の実施案内 ・ 採血基準の変更により、変更の範囲に当てはまる方をリストアップして要請葉書により複数回献血及び継続的な献血への協力を呼びかけ。 	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民だより、市町村広報誌、県内報道機関、地域広報誌、JR 及び私鉄各社等 <p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村 ・ 地域自治会 ・ 千葉県赤十字血液センター

東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なDMによる依頼 ・複数回献血クラブの推進 	・都・血液センター・区市町村との連携
神奈川県	未定	
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なDM、献血メールクラブの活用 ・AM民放ラジオによる定期的な献血情報の提供 ・献血推進団体における献血普及講演会の実施 	
山梨県	【血液センター】 <ul style="list-style-type: none"> ・県内ライオンズクラブの合同会議 	・ライオンズクラブ
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的にDM等による依頼を実施する。 	

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定なし 	
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層等を対象としたイベント・サービスの企画 ・血液センターまつり実施による地域へのイメージアップ及び地域貢献 	・血液センター 県内各メディア
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・地元プロスポーツチーム等協力による献血応援スペシャルマッチ開催 ・地元事業団ラグビーチーム選手による握手・サイン会を出張採血所にて実施。当日は、選手が献血にも協力し、献血イメージアップを図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ザスパ草津 ・パナソニックワイルドナイツ

埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度改修予定の川越献血ルームに関しては、休憩スペースを十分確保するとともに、地域に合わせたイメージ作り等により献血者の増加を図る。(新規) 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
千葉県	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動採血車のラッピング部分修理して外見を整える。 ・内装部分においても、老朽部分があれば更新する。 	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社の指定業者他
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・献血者に対する充足感のある環境を整える。 ・移動採血車や器材・採血ベッド等の見直しを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血ルーム改装を担当する施工業者や美術大学学生のアイデア等を取り入れ、充足感の向上をめざす。
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血ルームの移転・改修時に、地域の特性に合わせたイメージ作りに積極的に取り組む。 	
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血ルームにおける雑誌・マンガの充実 ・テレビを利用した企画提案の募集（例：献血ルームの明るい待合室の映像を多用したお天気のコーナーなど）。 ・民放 FM 局に対して献血ルームにリスナーとのパーソナリティを招待する、体験型の取材を依頼。採血ベッドのテレビやジュース、お菓子類の提供などの付加価値に関する情報を発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告代理店
山梨県	<p>【血液センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献血者の減少対策として、献血バス1稼働あたりの協力者数アップを狙うため、新検診車を整備した（機動性・防寒対策）。 	

長野県	<ul style="list-style-type: none">・ 献血者処遇品の見直しや、献血者が来所しやすく、居心地の良い施設環境の整備を心がけることにより、医療機関のニーズにマッチした献血者確保に努める。 <p>松本伊勢町献血ルーム（松本市）の移転に伴いルームのアメニティーの向上を図り、ゆったりとした献血ができる環境を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 市町村やメディアと連携・協力して、献血施設のPRを実施する。
-----	--	--

第13回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 23年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
富山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生献血推進の強化 校長会での献血依頼、学園祭等での献血PRブース設置のお願いをする。(パネル等の貸出) ・ 55歳以上の男性献血者に対して、採血基準変更のお知らせ及び血小板成分献血への協力依頼の文書を発送する。 	教育委員会、高等学校
石川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校1年生へ献血読本を配布する。 ・ 地元メディアの媒体を活用して、採血基準改正を広く周知する。 ・ 血液センター発行の広報誌等に積極的に掲載する。 	地元FM局・ラジオ局・民法テレビ局・NHK・新聞社等
福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞および県ホームページに採血基準の改正を掲載 ・ 市町との血液事業会議において、周知依頼 ・ 校長会および高校での献血出前講座において周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町 ・ 教育委員会
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採血基準改正について記載した「高校生向け献血啓発リーフレット」を全校訪問により配布する。 	血液センター

<p>静岡県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛の血液助け合い運動月間及びはたちの献血キャンペーン期間中に、県広報が持っている民放ラジオ（AM、FM）放送枠を利用して啓発する。 ・1月から3月にかけて、民放ラジオ（AM、FM）で放送する情報提供コーナー（約3分間）の中でテーマとして取り上げる。 ・血液センターが、生徒の集まる機会に出向いて周知。 	<p>県広報課、県内ラジオ局</p>
<p>愛知県</p>	<p>「はじめての献血」等のパンフレットを作成し、高校1年生に配布して啓発を行う。</p> <p>400mL献血について、男性に限り年齢が18歳から17歳に引き下げられたことから、高等学校の校長会・保健体育指導・養護教諭などの各種会議を通じて、採血基準の改正内容について周知する。</p>	<p>愛知県赤十字血液センターと協力して、県・市教育委員会を通して配布を計画。</p> <p>担当部局（県医薬安全課、名古屋市環境薬務課）を通じて県教育委員会・名古屋市教育委員会の協力を得て配布を依頼する。</p>
<p>滋賀県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生向けのリーフレットを作成、5月頃配布予定 ・企業献血では、1～2ヶ月前には、説明を行い、パンフレット等の掲示で献血協力者に理解いただく。献血推進団体（天理教・ライオンズクラブ）への説明。 <p>滋賀県赤十字血液センターのホームページに掲載。</p>	
<p>京都府</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話等のホームページを活用した啓発の実施 ・「高校生キャンペーン」継続実施 	<p>京都府・京都市教育委員会、高校</p>

大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ①府の機関誌や、府・血液センターのホームページへの情報掲載 ②電光掲示板等を利用したの広報 ③高校生によるポスター原画を利用し作成した啓発物（しおり）を、府内全高校生および府内書店等で配布 ④「日赤大阪」への情報掲載 ⑤市町村単位での広報、保健体育教諭の会合で周知 ⑥チラシ等を各献血協力団体に配布 ⑦献血団体の打合せや事前説明会において周知 	<ul style="list-style-type: none"> ②府広報協力団体 ③教育委員会、府内高校、書店、医療品団体 ⑤市町村、市町村献血推進協議会
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットに登載し、各種献血イベント等で配布 ・県広報での周知、市町広報での周知依頼及びメディアの活用等により機会を捉えて、広く周知する。 ・県立高等学校保健部長会議、市立高等学校養護教諭会議、各市町担当者会議で周知 ・22年度の取組みを継続 ・大型ビジョンに掲出 ・移動採血車のパネル表示及び固定施設に垂れ幕を設置 ・改正のチラシを高等学校全生徒に配布（12万部予定） 	市町、日赤、報道（放送）機関
奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校へパンフレットやリーフレット等による、啓発を行い、献血の促進を図る。 ・ホームページでの掲載。 ・チラシ・ポスターでの啓発（市町村全てに掲示） ・保護司の研修会等、各種研修会で説明。 	血液センター、奈良県献血推進協議会・市町村・高等学校等 市町村

和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビでのスポット放送 ・ ラジオ局でのCM放送 ・ 県下各高等学校へのチラシ配布 ・ 新聞「日赤和歌山」へ掲載 ・ 血液センターホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各高等学校 ・ 日赤県支部
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会へ働きかけを行う。 ・ 高等学校等に訪問し、学生ボランティアの依頼と併せて、広報を行う。 ・ 引き続き、ホームページに掲載し、広報・周知を行う。 ・ ポスター（チラシ）を作成し、保健所、市町、ページェント会場等で配布する。 ・ 学生ボランティアの広報誌に掲載し、広報・周知を行う。 ・ 三重テレビ・三重エフエム・津ケーブルテレビ・松阪ケーブルテレビ・コミュニティFM局（鈴鹿市）など無償で4月1日以降放送を計画。なお、三重テレビは有料で週3回CMを放送中。 	教育委員会、市町、高等学校・大学等、事業所

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	<p style="text-align: center;">予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p style="text-align: center;">本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
富山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血車展示 イベント（はたらくくるま集合）開催時に、献血バスを展示し、資料配布、DVD上映や親子で体験乗車してもらい普及啓発する。 ・ 親子連れの献血での落書き帳の配布（幼児） 	商工会議所
石川県	小学生とその保護者を対象に、血液、献血、輸血について実物の写真等を多用した講義を行い、血液センター内の見学を行う。	石川県教育委員会、金沢市教育委員会
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、親が献血中に子供がそばに居られるようできるだけ配慮している。子供向けの絵本やDVDを更に充実させる。 ・ 既存施設では新たにキッズスペースを設ける場所はないが、今後新規開設があれば考慮する。 	血液センター
愛知県	名古屋駅前献血ルームは、入居する建物が建て替えのため解体されることから、今秋には同献血ルームの移転が決まっている。新献血ルームでは、親子が献血にふれあう機会を提供するエリアとしてキッズスペース（案）を設ける予定をしている。	<p>「許可外保育施設に対する指導監督の実施について」(平成13年3月29日雇児発第177号)の他は、県単独の規制はありません。</p> <p>県、政令市、中核市等の保育指導係</p>
滋賀県	滋賀県学生献血ボランティア主催献血時にキッズスペースを確保する。	学生ボランティア参加大学に保育士資格を取得する学生がいるため、依頼し協力を得る。

京都府	献血ルーム（四条および伏見大手筋）移転にあわせ、多目的スペース（キッズスペース）を設置する。	
大阪府	平成22年9月1日に新設の「まいど なんば献血ルーム」にキッズスペースを設置した。今後、献血ルームを新設する際には設置予定。	日本赤十字社大阪府支部
兵庫県	改修予定の固定施設（献血ルーム）においては、キッズスペースを確保し、親子連れの献血受入を積極的に行う。	
奈良県	献血者用トイレにおむつ替え台の設置	
三重県	・今年度中に山田出張所の移転計画があり、ルーム内に多目的スペース若しくはキッズスペースを確保する。 ・小学生の親子に対し触れ合いを通じた勉強会を開催する。	

③「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
富山県	血液センターの親子見学会（小学生低学年）	小学校
石川県	大学生等で組織する石川県学生献血推進委員会を通じて献血の重要性を理解し、献血ボランティアに積極的に参加してもらう。	石川県学生献血推進委員会、石川県学生献血推進連絡会
福井県	・小中学生を対象とした血液センター見学会の開催 ・献血出前講座の実施	教育委員会

岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象に血液センターや献血ルームの見学会を実施する。 ・中学生の職場体験受入れをする。 	血液センター
静岡県	献血出前講座の推進等について実施予定（血液センターに委託）	大学、専門学校
愛知県	<p>県、血液センターの共催で、夏休み親子献血教室：夏休み期間中に、小学生とその親を対象としたセミナーを実施。血液センターの見学、クイズ形式による血液のはなし、献血バス・血液運搬車の展示と記念撮影・血液型無料判定等を行い、献血をより身近に感じてもらえる機会を設けている。平成23年度も開催を予定している。</p> <p>市町主催の教室に出向き、献血を身近に感じてもらう機会を設ける。</p> <p>「献血セミナー」として、高等学校においては、学校長・保健体育指導・養護教諭の理解と協力を得て、授業の一環として献血を取り上げてもらい、献血の現状と将来についての講義を通じて献血啓蒙を行っている。今年度も引き続き実施を依頼する。</p>	市町村、愛知県赤十字血液センター 県医薬安全課、県教育委員会、名古屋市教育委員会への協力依頼
滋賀県	例年、滋賀県長浜市で行われる1000人献血時の事業に、琵琶湖上にて、幼児から中学生と保護者を対象に献血セミナーを実施している。今年度も予定。	「1000人献血の会」に講師を依頼し実施する。
京都府	献血ルームにおける見学会及び献血セミナー開催（対象：小学生高学年とその保護者）	京都府（保健所）、地域献血推進協議会

大阪府	<p>①大学生の施設見学や中学生の社会体験事業として、職場体験受入。（中学生の職場体験実績：平成22年度8名）</p> <p>②府内小学生を対象に「献血おもしろゼミナール」を開催。（平成22年度参加者：小学生751名、保護者474名）</p> <p>③高校での「献血セミナー」の実施。</p>	大阪府学生献血推進協議会 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校を中心に献血セミナーを積極的に実施する。 ・小学生を対象に子供見学会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、校長会 ・ホームページ等で募集する
奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象に夏休みにまるわかりゼミナールを実施 ・出前講座の実施（主に高校生を対象）中学生の職場体験 	県
和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生と保護者対象の血液管理センター（京都府福知山市）見学ツアー ・小中学校で献血模擬体験学習、セミナーや講演等 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とし新聞・HP等で募集 ・県下各小学校へ提案
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアによる「血液センター見学会」の実施 ・高校生から大学生、社会人を対象にショッピングセンターにてイベント献血に合わせ実施 ・小学生を中心に出前授業を実施 	高校・大学等、血液センター 教育委員会への働きかけ

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
富山県	<ul style="list-style-type: none"> ・入学オリエンテーション等を利用した大学生等への献血への呼びかけ ・看護専門学校、短大での新入生を対象とした献血説明会の実施 ・医学部学生（5年生）の見学会及び献血体験 ・3人で一緒に献血キャンペーン ・リーフレットの配布 	大学・専門学校等
石川県	<p>大学学園祭会場で献血キャンペーンを実施する。 (献血啓発資材の配布)</p> <p>大学への移動献血を増やすことで、学生献血ボランティアが献血を呼びかける等、活動の場を提供するとともに、学生等に献血を体験、慣れ親しんでもらう。</p> <p>昨年度、石川県学生献血推進連絡会を組織した。今後も学生献血ボランティアを増やしたい。</p>	<p>県内大学 県内大学、短期大学、高等専門学校 (石川県学生献血推進連絡会)</p>
福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の各大学・短大に献血バスを配車し、福井県学生献血推進連盟を中心とした学生ボランティアによる啓発活動の実施・臨床研修医（1年次）に対し、血液センターにて血液事業オリエンテーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県学生献血推進連盟 ・各臨床研修医協力病院

岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の医学生研修を受け入れ、血液事業のオリエンテーションを実施する。 ・看護学生を対象とした血液事業についての講義を行う。 ・大学の献血時に「一緒に献血キャンペーン」を行う。また、学内でボランティア活動を行っているクラブに学内献血時に推進活動をしてもらう。 	血液センター
静岡県	大学生の献血ボランティア育成等について実施予定（血液センターに委託）	大学、専門学校
愛知県	<p>愛知県の学生献血連盟に啓発資材を供与し、大学生に対し献血の普及啓発を行う。</p> <p>医療系大学の学生を、血液センターの見学実習として少人数で受け入れ、講義のあと各部門（受付から採血・検査・製剤・供給）で見学実習を行う。</p> <p>その他の大学・専門学校についても、血液に関する講義と献血啓蒙用DVDの上映、施設見学と献血実施という流れで受け入れる。</p>	<p>愛知県赤十字血液センター（連盟と共催でのイベント実施）</p> <p>医療系大学はじめ各大学・各種専門学校との連携</p>
滋賀県	<p>大学構内に献血受付窓口を設置し、献血者の確保および普及啓発につとめる。</p> <p>血液センター近隣2大学には、平日各1名配備し、献血の呼び込みと送迎を行う。また、医科大学にも定期的に勧誘と送迎を行う。</p> <p>大学内サークル単位での協力要請。</p>	血液センター近隣2大学では、生協内に受付ブースを設置

京都府	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・高校での薬物乱用防止教室等、様々な機会を活用した献血啓発の強化と献血推進 ・大学献血実施時に比重不足者に対する「栄養相談事業」の実施 ・看護学生対象の献血セミナーおよび献血体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等 ・大学、血液センター、栄養士会 ・赤十字病院、京都府医師会
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ①「はたちの献血」、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」広報用ポスターを府内大学、短期大学に配布。 ②学生献血推進協議会メンバーの血液管理センター見学。（平成23年3月15日、36名） ③学生献血推進協議会による街頭キャンペーン。（実績：平成23年度8回程度） ④医療関係の専門学校に対して、血液センター施設見学会を積極的に招致。（平成22年度35回） ⑤学内体育会系クラブと連携しての学内献血の実施。 	大阪府学生献血推進協議会
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内18大学約100人で組織される兵庫県学生献血推進協議会による研修会の開催 ・研修医、医科大生、看護学生等の校外学習の受け入れ時の献血に関する研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県学生献血推進協議会 ・各大学等
奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学キャンパス内において、献血を実施するとともに、学生献血推進協議会と連携して学生による献血啓発を行い、啓発を含めた自主的な献血参加を促す。 ・入学時オリエンテーションの薬物乱用の依頼にあわせて献血の話も行う。 ・県立医大での献血継続（学生主催） ・医師会看護学校・病院協会での献血継続 	血液センター・大学・学生献血推進協議会等 医師会・病院協会

和歌山県	献血協力者にタンブラーの配布 講演や献血実施時にパネル等の掲示	和歌山県学生献血推進協議会
三重県	授業時間内、大学祭での実施。	実施の際、受け皿となる窓口の開拓

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
富山県	・はがきでの依頼（原料血漿確保） 50歳以上の献血者を対象に、ハガキにより献血協力依頼をする。	
石川県	55歳以上60歳以下の男性成分献血登録者を対象に成分献血を依頼する文書を送付する。	石川県、県内市町献血担当課
福井県	地元の壮年会等への協力依頼	地域の壮年会等
岐阜県	登録者に対してハガキでの依頼を行う。	血液センター
静岡県	1月から3月にかけて、民法ラジオ（AM、FM）で放送する情報提供コーナー（約3分間）の中でテーマとして取り上げる。ラジオのリスナーは50～60代自営業者の方が多い。	県内ラジオ局

愛知県	<p>ホームページに掲載し、高齢者が集まる研修会等で啓発資材を配布する。また、これらへ採血基準改正を記載する。</p> <p>特に50～60歳代の献血経験者を対象として、血小板成分献血の採血基準が改正されたことを、メールまたハガキ・機関誌などを活用して周知し、血小板成分献血への再チャレンジを促すことで血小板成分献血の増加を図る。</p> <p>名古屋市地域献血グループ研修会・県内各市町村における献血推進協議会等の出席委員・役員が、50～60歳代の対象年齢に近いことから、同世代による呼びかけに重点を置き、献血推進協議会・研修会の場を通じて献血啓発を図る。</p>	<p>保健所、薬剤師会等 愛知県医薬安全課、名古屋市環境薬務課 県内各市町村献血担当部署に協力依頼</p>
滋賀県	滋賀県では25%前後の協力があり、特になし。	
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・採血基準の改正に伴い55歳以上の成分献血者に血小板献血の協力を依頼する。 ・定年退職年齢の献血者を対象に継続献血依頼を行う。 	
奈良県	採血基準改正に伴い、血小板献血可能対象献血者にハガキ等で、基準改正の案内と献血依頼を行う。	
和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・「出張！県政おはなし講座」で、薬の正しい使い方についての講習会時に併せて啓発を行う。 ・テレビ和歌山に依頼し、基準改正のCMを行う。 ・既献血者への依頼ハガキの発送。 ・各種団体での献血講演。 	県、市町村、各種団体
三重県	登録者へハガキで協力依頼。	

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
富山県	街頭献血の献血車に併設で、事前検査待ち時間にDVDの上映を実施。	
石川県	栄養士監修のもと、健康に役立つ献立レシピを紹介するコーナーを設け、リーフレットを掲示する。	石川県栄養士会
岐阜県	屋外で受付を実施している献血会場を中心に、検診車の稼動を増やし、献血者への接遇面を改善する。	血液センター
愛知県	移動採血車で献血環境は、固定施設と比較すると見劣りするの否めない。街頭献血の会場として、ショッピングセンターの店内を借用して献血を実施する回数が増えてきたことから、店内にそぐわない旧態の受付資材を一新し、受付・接遇の環境に配慮する。	
滋賀県	週刊誌・漫画・ファッション雑誌の充実	
京都府	献血ルームの移設、拡充	
大阪府	平成22年9月1日に新設の「まいど なんば献血ルーム」は、水の都・大阪のイメージでデザインして、くつろげる環境を充実させた。	
兵庫県	処遇品の充実や移動採血車に雑誌を積載する等、十分に休憩をとっていただける環境を整備する。	
奈良県	積極的に「チッチ」や「ハーディア」等の献血推進キャラクターを活用する。イベントで「チッチ」の着ぐるみを私用する等。	血液センター

三重県	夏のイベントとして血液センターのPR、移動採血車及び施設見学、出店などで夏祭りの一つとして地域住民と共同企画する。	地域自治体への呼びかけ
-----	---	-------------

第13回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 23年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	—	—
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内報道機関各社に対して県民への周知 (岡山県内及び香川県一部) ・ ホームページでの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内27社及び香川県1社に対し県民への周知を依頼した。(テレビ・ラジオ・新聞) ・ 岡山県医薬安全課及び岡山県赤十字血液センターホームページにより周知をおこなっている。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県媒体を利用した広報。 (クリアファイル配布, 県ホームページ掲載, テレビ放送) 	—
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生出前講座 ・ 報道機関等の協力による広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山口県教育庁

徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・各種広報媒体を用いて広報 ・休止中の高校生献血の再開を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターの情報誌を用いての広報実施 ・ＴＶ，ラジオを用いての広報を行う ・県教育委員会に理解を得た後、各高校に血液センターと一緒に説明に行き、理解と協力を得る。
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・県広報誌等各種広報媒体を用いて広報 ・高校生サポーター事業、出前講座等高校生向けの啓発事業の際、献血及び採血基準改正について説明 ・高校の養護教諭等に対し、地区の保健衛生の会議等を通し、献血知識の普及や協力依頼を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町への働きかけを行い、広報に努めてもらう。 ・県の保健体育課や高校教育課に協力依頼。 ・地区の保健衛生の会議等、高校教諭の出席する会議の中で献血啓発取り組みについて説明を行う。
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・１７歳の県内高校男子生徒全員へ知事メッセージを配布し、献血の普及啓発を行う。 ・県ホームページに採血基準の改正内容を掲載し周知を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会（県内高等学校及び県学校担当課） ・愛媛県赤十字血液センター
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血を行う事業所に献血の実施前に基準改正のチラシを持参し、基準改正の周知を図る。 ・高校献血では、担当の先生にパンフレット等で説明し、理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者（広報用のポスターを事業所の担当者に持参する際に、基準改正のチラシを持っていく。 ・高校関係者（事前に説明を行う。）
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットを作成し事業所や関係団体に配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	<p style="text-align: center;">予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズスペースがないため、ぬり絵や絵本を準備し、献血にふれあう機会を設けている。 	—
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み「小学生親子血液センター見学体験教室」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内小学校5・6年生（保護者含む）を対象として岡山県教育委員会の後援を受け、県内全小学校に対し、参加募集チラシを配布する。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ルームにキッズスペースの設置，子供用DVD観賞スペースの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズコーナーの設置を検討 	—
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターには従来からキッズルームがあった。 ・献血ルームについては、23年4月に移転リニューアルオープンしたことから、広さも3倍になり、キッズスペースを確保し、ぬいぐるみや子供用DVDを設置した。 	—

香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ルーム移転にともない、献血ルームにキッズスペースを確保した。 ・ 大学生等ボランティアが行う献血キャンペーン会場においてキッズスペースを確保し、学生が中心となって、献血キャラクターのぬり絵等を用いて、幼少期の子供が献血にふれあう機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生ボランティア団体に協力依頼
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約献血により一定規模の子連れ希望者を確保できるようにであれば、臨時的に休憩室の一部をキッズスペースとして使用することを引き続き検討する。 ・ 小学校親子血液センター見学体験教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採血所の構造設備基準、医療法（休憩所の確保） ・ 愛媛県赤十字血液センター
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年4回～5回の街頭でのキャンペーンの際に、テントを張りキッズスペースを構える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前の許可申請
島根県	—	—

③ 「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血世代を担う子供たちへの献血啓発活動を目的に献血学習会「献血おもしろセミナー」を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、市町村、教育委員会

岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のライオンズクラブの例会へ出向き、献血意義や必要性を訴える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンズクラブ 336-B地区のガバナーと連携を取って取り組む。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・なるほど献血教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生親子血液センター見学体験教室 ・小、中、高校生を対象とした「献血出前講座」 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市教育委員会 ・山口県教育庁
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターにて、小学生を対象とした「夏休み親子献血セミナー」を継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村教育委員会の後援承認を得て実施する
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象に血液事業について＋献血について＋DVD視聴など、献血の必要性を理解してもらうための献血セミナーを行う。必要や要望に応じて血液センター見学会を行う。 ・小学生を対象に血液センター見学教室や献血出前講座を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血セミナーや体験学習の機会について、学校等に周知や協力依頼を行う。 ・高校生等の献血ボランティア運動の際に、献血学習の時間を設け、血液センター見学等を盛り込む。
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校及び高等学校等へ献血事業を説明する「出前教室」を実施 ・小学校親子血液センター見学体験教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県赤十字血液センター
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血を実施する学校において、出前講座を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校（主に私立）

島根県	・夏休みの小学生を対象とした親子血液センター見学会及び体験教室の開催	・県教育委員会
-----	------------------------------------	---------

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	・献血に対する理解を深めるとともに血液の適正使用を図ることを目的とする。	・大学

岡山県	・大学生、看護専門学校生等を対象とした、血液センター見学研修会の実施	・ホームページにより、見学研修会への参加を募集する。
-----	------------------------------------	----------------------------

広島県	・県大学献血推進協議会	・大学生
-----	-------------	------

山口県	・大学生やその他の学生を対象とした献血セミナー	・山口県学生献血推進協議会
-----	-------------------------	---------------

徳島県	・学生献血ボランティアが各種キャンペーン等を企画できる体制を作る ・学園祭への移動採血者の配車。大学及び看護学校献血時にパンフレットの配布、啓発用パネルの掲示、推進 DVD を放映	・血液センターが学生献血ボランティアに対して定期的に研修会を実施し、連携を強化する。 ・大学、看護学校
-----	---	--

香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学ボランティアに献血キャンペーンを自主企画してもらったり、県の広報媒体に出演してもらう。 ・医療従事者をめざす学科等において献血セミナーを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターが大学ボランティア団体において定期的に研修会を実施することで、連携を強化する。 ・医療関係の学校に対し、セミナー開催希望を募る。
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に大学、各種専門学校内での移動車の採血を行い、実際に学生に直接現場を見て献血をしてもらう等啓発の機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県赤十字血液センター
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学及び専門学校において献血を実施。併せてポスター及びパンフレットを配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学及び専門学校
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・島根大学における学内献血の実施（年5回） ・献血推進サークル学生を対象とした献血セミナーの実施 ・島根大学の音楽部定期演奏会の協賛と献血セミナーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、島根大学献血推進サークル

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・50代～60代の献血者が少ないため、献血への協力を目的とする。 	—

岡山県	—	—
広島県	・ 献血啓発リーフレット	—
山口県	・ ダイレクトメールの送付(特に血小板献血者)	・ 血基準改正に伴い55歳から69歳の方で過去に血小板献血協力者に対しダイレクトメールや電話で要請。
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センターが過去に献血履歴のある対象者に対し、 ①誕生月に献血依頼のハガキを送付 ②血小板献血可能者に隔月毎に献血依頼のハガキを送付 ③複数回献血クラブの会員に随時メール発信 ・ 徳島県職員成分献血者登録制度の募集時に69歳まで可能なことを広報し登録者を増やす。 	・ 登録者の所属課、人事課、血液センター
香川県	—	—
愛媛県	・ 企業やイベントの献血巡回時に、年配の人(管理職等)に対し、より一層の普及啓発を行う。	・ 愛媛県赤十字血液センター
高知県	・ 55歳以上の男性にハガキでの血小板献血の依頼	—

島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 55 歳以上の方へ DM による血小板成分献血の年齢引き上げのお知らせと協力依頼を実施。 ・ DMにより、60～64 歳の方へ 60 歳台で献血経験があると 69 歳まで献血できる旨のお知らせと協力依頼を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター
-----	--	--

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地にあり、景観が悪いため、写真を展示し、明るい雰囲気確保することを目的とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血者
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩用マイクロバスを購入し、街頭献血時等に活用する。 ・ 母体の休憩場所と受付周りの改善を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし ・ 派遣講師による改善を実施する。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血バスのデザインの変更，低床タイプの献血バスの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ルームのリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シーモール下関商業開発株式会社

徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月にリニューアルオープンした献血ルームが、広く明るくなったこと、キッズスペースを確保したこと。インターネット等の情報機器も整備されたこと等の広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞等各種広報媒体を利用し周知を図る
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ルームが23年4月に移転した。一層の利用促進を図るため、各種広報媒体における広報を行う。 ・ 新献血ルームにおいて、ルームの見学会及び献血呼びかけボランティア、イベント等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ルームの商店街に協力依頼 ・ 学生ボランティア団体や高校等への協力依頼
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採血所休憩室の壁の一部に地域情報（ポスター等）を掲示して一般の方が自由に行き来できるよう採血のイメージアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛媛県赤十字血液センター ・ 大学及び専門学校
高知県	—	—
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター待合室の改装 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター

第13回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 23年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行の採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌「はっぴいくろす」に掲載 ・ テレビCM放送及びラジオ番組放送協力依頼 ・ 市政だより等、行政の広報による情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ テレビ局5社、ラジオ局8社 ・ 市町村
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の方々への広報を目的として、地元テレビ局のCM放送を行う予定。(毎週1回(月)を3ヶ月間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、血液センター
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページや県広報誌への掲載 ・ 県政番組への記事依頼 ・ 広報用リーフレットの作成・配布 ・ 市町広報誌への掲載依頼 ・ 高等学校校長会及び養護教諭研修会での説明 ・ 街頭キャンペーンでのPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町、血液センター

<p>熊本県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村広報誌への掲載依頼 ・情報誌等の広報掲載 <ul style="list-style-type: none"> 生活情報誌「すばいす」に掲載（4/1 配布） 血液センター情報誌「KUBIRU」春号に掲載（4/7 より配付） 熊本日日新聞朝刊に掲載（4/27 掲載） 日赤本社制作のTVCM（民放4局）・ラジオCM（民放2局）放送（4/1～4/30） ・若年層等の献血者確保対策に重点を置いた取り組みの推進。 特に、高校生対策として県内の公立又は私立の高等学校等に、献血の意義や仕組みを説明する「献血出前講座」や体験学習の取り組みについて協力を要請する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県所管課、公立高等学校長会、養護教諭、ライオンズクラブ
<p>大分県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各高等学校長あて、採血基準改正の周知及び献血推進の協力依頼の文書発出 ・出前講座や各種研修会での周知 ・リーフレットに改正内容を掲載 ・大分センターより県内メディアに放送依頼 期 間：平成23年4月1日より12月31日 依頼先：TV民放3局、民放ラジオ2局 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育庁を通じて文書を発出 ・市町村、各種ボランティア団体、学校薬剤師、高校生及び高校教諭 ・各種キャンペーン等で配付 ・放送協力回数については現在進行中のため、回数はまだ報告いただいております。

宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県政番組などテレビ、ラジオ、新聞等での広報 ・ 市町村による広報 ・ 高校への新しいリーフレット等の配布 ・ 掲示板、ポスター掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 市町村 ・ 教育委員会等
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問、高校への出前セミナー等、平成22年度と同様の取組を実施する。 ・ 県内の全ライオンズクラブセミナーで周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校訪問については、県・保健所と血液センターの連携を強化する。 ・ 県内各ライオンズクラブの協力を得る。
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の広報テレビ番組や広報誌等の各種広報媒体による情報提供 ・ 献血教室や校長会における情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血推進協議会に参加する高等学校長協会へ協力依頼を行う。 ・ 県、市町村、血液センター、教育庁、高等学校

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て中の方でも献血に協力しやすい環境づくりの推進 ・ 実施している市町村をモデルとして情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、市町村、ボランティア団体 ・ 市町村担当者会議などで、情報提供

佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・待合室及びキッズスペースでの接遇・献血者の手助けを行うため、ボランティアの募集を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H13. 3. 29 付け雇児発第 177 号厚生労働省雇用均等 <ul style="list-style-type: none"> ・児童家庭局長通知「認可外保育施設に対する指導監督の実施について」により指導監督を行っている」と担当部署から聞いている。 ・県、血液センター
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭り等とタイアップして、受付とは別に小学生等を対象としたコーナーを設け、クイズやグッズ等の配布を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・未定 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の献血ルームのスペースでのキッズスペースの設置は不可能である。
大分県	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み親子けんけつ教室 ・献血バス&けんけつちゃんスケッチ大会 ・献血ルーム移転に伴い、キッズルームを新設する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県・血液センター
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児向けDVD・絵本等の整備 ・献血ルームと同一建物内にある民間託児システムの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした【楽しく学ぼうキッズ献血】を夏休みに父母等同伴で実施。 ・PTA献血では、親子参加の献血を実施し、子供に父母の献血するところを見学させ、献血の大切さを学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市、県市教育委員会、県内小学校等と連携し協力を得る。 ・報道各社の協力を得る。

沖縄県	・ショッピングセンター内に献血ルーム新設を検討しており、キッズスペースが確保できる十分な広さの借用をオーナー企業に申し込んでいる	・血液センター、県内ショッピングセンター
-----	--	----------------------

③「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学、高校生に対する献血出前講座の実施 ・九州血液センターの見学・ガイダンスホールを利用した啓発 ・推進パンフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、市町村教育委員会、ライオンズクラブ
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・移動採血及びセミナーの実施校4校で年2回実施する。 ・親子を対象にアニメを見ながらの体験学習を年1回実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、血液センター 協力；佐賀県学生献血推進委員会
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職場体験学習の受け入れ。 ・高校生献血実施前に講演等を行い、血液思想の普及を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、教育委員会、中・高等学校

<p>熊本県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み血液センター見学会「ハービットとのぞいてみよう赤十字」 対象：小学生と保護者 3日間で午前午後の計6回実施 ・いのちと献血俳句全国コンテスト作品募集、表彰式 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社熊本県支部 熊本県学生献血推進協議会協力 ・後援：熊本県・熊本県教育委員会
<p>大分県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・献血推進リーダーによる出前講座 ・夏休み親子けんけつ教室（親子26組69人） ・献血バス&けんけつちゃんスケッチ大会（親子8組25組） 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血推進リーダー（行政の献血担当者、学校薬剤師）、教育庁及び各学校
<p>宮崎県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした「夏休み親子献血教室」の実施 ・出前講座「親子で参加献血スクール」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・教育委員会等
<p>鹿児島県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・高校・専門学校等へ出向き献血セミナー・献血出前講座の実施 ・血液センターで小・中学生を対象とした職場体験学習の受入を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、各学校へ周知。 ・献血セミナー・献血出前講座については、県・保健所と血液センターの連携を強化する。
<p>沖縄県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高校生を対象とした職場体験学習の実施 ・22年度に新設された血液センターにおける施設見学及び献血講座の実施 ・高校生や大学生等を対象とした献血教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、血液センター、教育庁、中学校、高等学校、大学・各種専門学校

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者をを目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生自治会などに献血推進協議会への加盟の推進 ・ 上記加盟校の定例会での普及啓発、情報交換 ・ 学内献血実施にあわせポスター掲示や呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、大学、学生献血推進協議会
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大学での献血は、4月と12月に行っている。特に、佐賀大学医学部では、学園祭の折に献血を実施するとともに学園祭実行員会との連携を図り献血への参加を呼び掛けた。 ・ 県内、看護専門学校への献血説明会の開催を働きかける。(9校に働きかける。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県・血液センター 協力；佐賀県学生献血推進委員会・佐賀大学医学部「ムツゴロウ祭」実行委員会・看護専門学校
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生ボランティアの協力のもと大学構内での献血及びキャンペーンの実施 ・ 県内大学への啓発資材の配布 ・ 医療系大学生に対し、講義の際、献血の重要性を説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、県内大学

熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県学生献血推進協議会の活動活性化支援 学生リーダー献血研修会 大学内献血の実施と啓発グッズの提供 各種キャンペーンへの参加 (クリスマス学生献血キャンペーン、ハローウィン 献血、はたちの献血キャンペーン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県学生献血推進協議会
大分県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生献血推進協議会研修会及び啓発キャンペーン ・学内献血事前説明会（2回：80名） ・献血研修会（豊西准看学校：30名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県学生献血推進協議会及び各大学
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部生を対象に血液事業全般に関する研修 ・薬学部、看護学生を対象にした献血に関する講習 ・学生献血推進協議会メンバーを対象に九州血液セン ターでの視察研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・各大学等
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生献血推進協議会の定例会を毎月1回実施 ・医療関係学生に、輸血や献血の実技指導を含めた勉 強会を血液センター内「輸血検査研修室」で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県学生献血推進協議会 ・県内医療機関・県内大学医学部
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生推進協議会が実施する校内における呼びかけ等 の普及啓発活動の支援 ・大学及び専門学校における献血教室の実施 ・学生推進協議会メンバーや一般大学生を対象とした 施設見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、血液センター、学生推進協議会、大学・ 各種専門学校

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だよりや事前PR誌での周知 ・ 対象者への情報提供と継続的な協力要請 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、市町村、協力団体
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去3年以上献血されていない方へ献血依頼のダイレクトメールを送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、血液センター、市町村、ライオンズクラブ
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県広報誌を利用した採血可能年齢の説明 ・ 事前に献血予定事業所を訪問し、献血可能な服用薬等の献血基準の説明を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、協力事業所
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	
大分県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期間、献血していない50歳以上の方へのダイレクトメールによる協力依頼や改正採血基準の情報提供等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイレクトメール等で65～69歳にPRすることを検討中。 	

沖縄県	・糖尿病関連検査等により献血が健康管理に役立つことをポスター、ちらしを用いて周知を図る。	・血液センター、県内企業
-----	--	--------------

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血バスのラッピングによる親しみやすさ ・大型検診車の導入による会場の快適さの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、市町村
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血事前検査用の検診用マイクロバスの活用の実施。(夏・冬等の条件の悪さを解消する。) ・本年度、献血プラザさがを献血ルーム設置基準に準拠した献血ルームに全面改装する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、県
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・移動採血車にテント等を隣接し、日差しや風雨等をしのぎやすく入りやすい献血会場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、協力事業所
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
大分県	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・検診車、移動採血車用横断幕、のぼりの整備 ・TVCM放映によるイメージアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター

鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血バス室内を明るいイメージに変え快適な献血を推進する。 ・固定施設に健康器具・測定機を設置。 ・固定施設において近隣の商店街と連携し、「献血ありがとうクーポン券」を発行し両方の活性化に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定施設の近隣商店街通り会事務局へ説明会を実施。 ・大型商業施設との連携。
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンター、映画館、ゲームセンターが入る複合モールへの献血ルーム新設の検討 ・平成23年度に導入する検診車2台について、機能面の充実を調整中。 ・移動献血の際には、テントを設置し、日差しや風雨を防ぎ快適な環境づくりに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、県内ショッピングセンター